

【防火対象物点検報告特例認定申請書の記載例】

別記様式第1号の2の2の2の3（第4条の2の8関係）

【提出先：管轄消防署】

防火対象物点検報告特例認定申請書

① ○○年○○月○○日				
②宇都宮市○○消防署長 殿				
③申請者				
住所 宇都宮市○○町○○丁目○番○号				
（法人の場合は、名称及び代表者氏名）				
○○商事株式会社 代表取締役				
氏名 ○ ○ ○ ○				
電話番号 028-625-○○○○				
下記のとおり、消防法第8条の2の3第1項の規定による認定を受けたいので、同条第2項の規定に基づき申請します。				
記				
防 火 対 象 物	所在地	④宇都宮市○○町○○丁目○番○号		
	名称	⑤○○ビル		
	用途	⑥複合用途	令別表第一(16)項イ	
	収容人員	⑦300名	管理権原	⑧単一権原、 <u>複数権原</u>
	消防法施行令第2条を適用するもの	名称	用途	収容人員
	⑨			
申請者が防火対象物の管理を開始した年月日	⑩ ○○年○○月○○日			
前回の特例認定年月日	⑪ 年 月 日			
その他必要な事項	⑫○階 ○○商事株式会社(店名・○○○駅前店) 物品販売店舗 収容人員 50名			
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
2 ※印の欄は、記入しないこと。

【防火対象物点検報告特例認定申請書記入要領】

項 目		記 入 要 領
①年月日		申請書の提出年月日（和暦又は西暦どちらでも可）を記入します。
②あて先		当該防火対象物を管轄する消防署の長とします。
③申請者		1 当該事業所の管理について権原を有する者の住所、氏名を記入します。（ただし、法人の場合は法人の住所、名称及び代表者の職・氏名を記入します。） 2 個人企業の場合は、住所登録のしてある住所とします。
防火対象物	④所在地	当該防火対象物の所在地を記入します。
	⑤名称	「〇〇ビル」等防火対象物の名称を記入します。（申請事業所の名称ではなく、建物の名称を記入します。）
	⑥用途・令別表第一	当該防火対象物の用途（申請事業所の用途ではなく、建物全体の用途です。）を政令別表第1に掲げる用途区分により「飲食店(3)項ロ」「複合用途 (16)項イ」の要領で記入します。
	⑦収容人員	当該防火対象物全体の収容人員を記入します。
	⑧管理権原者	当該防火対象物全体について管理権原の分かれなない場合は「単一権原」を分かれる場合は「複数権原」を記入します。
	⑨消防法施行令第2条を適用するもの	1 同一敷地内に同一管理権原の2以上の建物がある場合、棟ごとの名称、用途、収容人員を記入します。 2 棟が多くこの欄に書ききれないときは適宜用紙を添付して記入します。
⑩申請者が防火対象物を開始した日		申請者が消防法第8条の2の2第1項に該当する防火対象物として、申請者が当該防火対象物の管理を開始した日を記入します。
⑪前回の特例認定日		前回の特例の認定の効力を生じた日を記入します。
⑫その他必要な事項		申請者の事業所の存する階、事業所名、店舗名、収容人員等を記入します。